

# 港湾空港局

一般会計要求総額  
特別会計要求総額  
合計

10,727百万円(対前年度 +68.6%)  
5,583百万円(対前年度 ▲4.1%)  
16,310百万円(対前年度 +33.8%)

## 【令和3年度 予算要求の経営方針】

港湾空港局では、本市の持続的な発展を支えるため、港湾空港行政を通じて、「本市の経済成長の実現」「市民の安全と安心の確保」「魅力ある地域づくり」「良好な環境の維持・改善」を図ります。

## 【令和3年度 予算要求の基本的な考え方】

(新)：新規事業、(拡)：拡充事業

### 1 北九州港

要求額（一般会計、特別会計）14,878百万円（対前年度 +34.2%）

#### (1) 北九州港長期構想の検討

①北九州港の将来の姿やそれを実現するための施策の方向性を示す「北九州港長期構想」の検討

#### (2) 港湾の機能強化と利用促進

- ①<sup>①</sup>太刀浦コンテナターミナルの機能強化（<sup>②</sup>第2コンテナターミナルのコンテナクレーン更新、ヤード舗装の補修）
- ②<sup>③</sup>新門司フェリーターミナルの機能強化（<sup>④</sup>新フェリーターミナル等の整備、<sup>⑤</sup>フェリー支援PR）
- ③コンテナターミナルの利用促進（戦略的な新規航路の誘致や集貨（インセンティブ補助））
- ④<sup>⑥</sup>臨海部産業用地の整備及び企業の誘致（<sup>⑦</sup>新門司地区・響灘東地区の産業用地のインフラ整備、<sup>⑧</sup>響灘東地区国有地の活用）

#### (3) 風力発電関連産業の総合拠点の形成

- ①響灘地区を中心とした本市への風力発電関連産業の集積
- ②<sup>⑨</sup>洋上風車の積み出し等の拠点となる基地港湾の整備
- ③<sup>⑩</sup>洋上風力発電施設の建設等で使用する特殊作業船（SEP船等）の基地化に向けた検討・整備



写真提供 MHI Vestas Offshore

#### (4) 港湾の防災・減災対策と老朽化対策の推進

- ①高潮から企業活動を守るための護岸の整備、<sup>⑪</sup>耐震強化岸壁の整備
- ②<sup>⑫</sup>老朽化した港湾施設の計画的な更新や航路白地の浚業  
（<sup>⑬</sup>港湾施設健全化対策、<sup>⑭</sup>臨海道路緊急安全対策、<sup>⑮</sup>港湾施設整備事業（改修）  
<sup>⑯</sup>航路白地浚業対策、<sup>⑰</sup>新門司南地区泊地浚業、<sup>⑱</sup>奥河海航路浚業、<sup>⑲</sup>港湾保安対策センサー更新）

#### (5) みなとを核とした魅力ある地域づくり

- ①みなとを核とした魅力ある地域づくり  
（みなとオアシス門司港の取り組み推進、北九州港市民PR、  
<sup>⑳</sup>海辺の憩い・にぎわい TRIAL PROJECT）



みなとのにぎわい（門司港）

#### (6) 良好な環境の維持・改善

- ①浚業土砂や廃棄物受入のための海面処分場の整備
- ②<sup>㉑</sup>築地地区の石炭粉じんの改善（防塵ネットの設置）

### 2 北九州空港

要求額（一般会計、特別会計）1,432百万円（対前年度 +30.4%）

#### (1) 九州・西中国の物流拠点空港の実現

- ①物流拠点としての機能強化（<sup>㉒</sup>機能強化推進）
- ②貨物便の誘致と集貨（<sup>㉓</sup>航空貨物拠点化推進、<sup>㉔</sup>大型貨物専用機航路促進）

#### (2) 北部九州の交流を支える空港の実現

- ①交流拠点としての機能強化（エアポートハブ等への運行助成）
- ②旅客便の誘致と集客（定期便定着のための運航助成、<sup>㉕</sup>激減した旅客の回復をはかるための集客対策）



北九州空港全景

※ 公開時点での予算要求の内容であり、令和3年度に実施することが確定しているものではありません。